

研修会開始前～ロールプレイ終了までの進め方の一例

- この内容は、研修会の経験が少ない地域においても円滑・適切な進行ができるよう、研修会開始前からロールプレイ終了までの進め方について、使うスライドや司会の発言内容、留意点などの一例を示すものです。
- 全体の流れ（集団の状態把握含む）を理解しておくこと、司会進行役の方の心理的な負担が減少してよりよい会の運営が可能になります。
- 必要があれば地域特性等に応じて適宜変更の上、ご活用ください。

1. 研修会開始前～開会挨拶・来賓紹介等

実施内容	映しておくスライド	司会の発言例	備考（会場の雰囲気含む）
開場前の準備			テーブル上に模造紙、マジック等、アイスブレイク用物品を準備しておく
開場・グループごとに着席	アンケートの記載に関する注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・お集まりの方は、参加者アンケートの「参加前」を記入していただきます。「終了直後」はまだ記入しないでください。 ・ホチキスをはなさずに、アンケートを書いたら、グループの方同士で雑談などしていただきます。 	研修参加者は三々五々集合するので、事前にアンケートを渡しておく （初対面の参加者が多く、緊張している状態）
リラックスした雰囲気づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・上着は脱いでもらって結構です。 ・雑談、世間話していただいて大丈夫です。 	（緊張をほぐすような声掛けをお願いします）

2. 研修会開始～アイスブレイク

実施内容	映しておくスライド	司会の発言例	備考
研修会の開催・オープニング		<ul style="list-style-type: none"> ・これから多職種連携研修会を始めます。 ・本日の司会を務めさせていただき、〇〇（司会の方のお名前）です。どうぞよろしくお願いいたします。 	
開会の挨拶		<ul style="list-style-type: none"> ・研修の開会にあたりまして、〇〇（所属組織・部署）の〇〇（氏名）から開会の挨拶をさせていただきます。 	
（開会の挨拶）			
来賓紹介		<ul style="list-style-type: none"> ・では、本日の来賓の方をご紹介します。 ・〇〇（所属組織・部署）の〇〇様です。 ・続きまして、…（省略） 	紹介だけに留めるか、挨拶も頂くか、について要検討

研修実施		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。それでは、研修に入りたいと思います。 ・（全体司会とコーディネーターが異なる場合）ここからの進行は、〇〇（コーディネーターのお名前）に代わらせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修のコーディネーターと全体司会は、同じ方でも違う方でも可
コーディネーターの自己紹介	コーディネーターの自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の会のコーディネーターをさせて頂く〇〇（コーディネーターのお名前）です。 ・私の職種は〇〇で、職場は△△です。これまでの職歴は…（省略）。ニックネームは〇〇です。 ・どうぞよろしくお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の内容は各自で適切なものを選択
研修の趣旨・目標の説明	今日の目標スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の研修会は、多職種連携を研修参加者の皆さんで考えることが目標です。 ・グループの中には、すでに日々の業務を通じてご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、改めてお互いの職種の役割について、事例を通して理解を深めていただきたいと思います。 ・また、ロールプレイ（寸劇）を含め今日の研修を通じて、日常業務やこの地域のことを振り返るきっかけとしていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> （ ）内は適宜 （ロールプレイについて不安を感じる方がいるかもしれないので、全てのグループが一斉に行うので「恥ずかしくない」ことを強調してください）
時間割の説明	時間割スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・本日はスライドに示すような時間割で行います。（スライドの内容について簡単に説明） ・少し長丁場ですが、ぜひ最後までご参加ください。 	
ニックネームの決定		<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、お手元にある名札にご自身のニックネーム（あだな）を記入してください。 ・今まで呼ばれたことがあるニックネームでも、今日呼ばれたいニックネームでも構いません。 ・（アンケートを自己紹介中に配布した場合）自己紹介が終わったところからアンケートの「参加前」のほうのみを記入してください。ホチキスは外さないようにお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートを後で配布する場合は、この自己紹介中にスタッフが配布する。
（ニックネームを名札に記載）			
グループ内での自己紹介	本日の約束スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ニックネームは書けましたか？（書けたことを確認後）それでは、グループ内で自己紹介をしてもらいます。 ・一番若い人はどなたでしょうか？年齢は聞かなくて結構ですよ。自称あるいは他称で、一番若い人です。その方は今日一日、仕切り役と書記をお願いします。 ・では、その一番若い方から、名前、所属、職種、ニックネームをお話してください。 ・なお、今日の研修会中はお互いニックネームで呼び合ってください。「〇〇先生」などの呼び方はなしですよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ここでの「本日の約束」は下記の内容。 ・一番若い方が仕切り役 ・一番若い方から時計回りに名前、所属、職種、ニックネームを紹介 ・研修会ではニックネームで呼び合う ・チーム名を決めたら模造紙の右上に記載
（自己紹介）			

チーム名の決定		<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介が一回りしたら、チーム名を決めてください。 チーム名が決まったら、模造紙の右上にチーム名を記載してください。一番若い人から見た右上で結構です。 	※時間がない場合には、チーム名を決める作業はなしでもよいです。
(チーム名記載)			
アイスブレイクの準備	アイスブレイクスライド	<ul style="list-style-type: none"> まずは皆さんの緊張をほぐすためにゲームを行います。 チーム対抗戦です。 机の上から、模造紙、新聞紙、はさみ2本、のり2個以外おろしてください。いいですか。 新聞紙は2日分あります。1日だけ机の上に残して、もう1日分は床の上においてください。 机の上を確認します。模造紙、その上に1日分の新聞紙、のり2個、はさみ2本だけですか？ 	アイスブレイク(氷解:緊張をほぐすこと)は、チームビルディングあるいはチーム機能を学ぶことに関連したようなものであれば、本例以外の方法でも構わない
アイスブレイクの説明		<ul style="list-style-type: none"> 今日は新聞紙で輪を作ります。小さいころクリスマスや七夕、運動会などでつくりましたね。輪を作りつけてもらいます。 つないだ輪の数を競います。長さではありませんよ。輪のクオリティも問いません。 よろしいですか?ではまず各チームで1分間作戦タイムを取ります。では作戦タイム、スタート。 	実際作ったものを準備しておいて示すとよい
(1回目作戦タイム:1分)			
アイスブレイク開始		<ul style="list-style-type: none"> はい、1分経ちました。それでは開始します。(第1位のチームには豪華景品を用意しています。頑張ってくださいね。) では全員バンザイしてください。まだはさみやのり、新聞紙を持ってはいけませんよ。全員バンザイしていますか? では、よいい、はじめ。 	景品がある場合は説明(可能な限り賞品を用意できると参加者の意欲が向上する。1000円前後のお土産・お菓子などの食べ物がよい。)
(1回目アイスブレイク開始)			
終了時間のアナウンス		<ul style="list-style-type: none"> あと1分です。 あと30秒です。 あと20秒です。 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1、終了。 	時間を測っておく
数の確認		<ul style="list-style-type: none"> 作業をやめてください。 では、各グループつながっている輪の数を数えてください。つながっているものだけです。 	前のホワイトボードに表を書き、横をチーム名、縦に1回目の点数を書き込んでいく。
(各チームに数を発表してもらい、ホワイトボードに書き込んでいく)			
1回目結果発表		<ul style="list-style-type: none"> 結果、○○チームは△△点、●●チームは▲▲点でした。 1回目の1位は○○チームでした。 	各チームの点数発表と1位のチームの確認

各チームにコメントを求める		<ul style="list-style-type: none"> ・(1位のチームに) 勝因は何でしょうか。 ・(最下位のチームに) 敗因は何でしょうか。 	※時間がない場合には2回目の作業は中止してもかまいません。その場合には1回戦の結果で勝敗を決めてください。
2回目の準備		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ袋に今作った輪と、余った新聞紙を入れてください ・では、もう1回やりますので、2回目の新聞をテーブルの上においてください 	
2回目作戦タイム		・2回目の作戦会議を行います。1分間です。では作戦タイム、スタート。	
(2回目作戦タイム：1分)			
2回目のルール説明・開始		<ul style="list-style-type: none"> ・はい、1分経ちました。 ・2回目を始めますが、2回目は条件があります。一切しゃべってはいけません。皆さん無言で行ってください。 ・では、よい、はじめ。 	
(1回目アイスブレイク開始)			
終了時間のアナウンス		<ul style="list-style-type: none"> ・あと1分です。 ・あと30秒です。 ・あと20秒です。 ・10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 終了。 	時間を測っておく
数の確認		<ul style="list-style-type: none"> ・作業をやめてください。 ・皆さんお疲れ様でした。皆さんの取り組みにお互い拍手しましょう。(拍手) ・では、各グループつながっている輪の数を数えてください。つながっているものだけです。 	前のホワイトボードに表を書き、横をチーム名、縦に2回目の点数を書き込んでいく。(記入するのは会場別の別メンバーにお願いする。)
(各チームに数を発表してもらい、ホワイトボードに書き込んでいく)			
2回目結果発表		<ul style="list-style-type: none"> ・結果、○○チームは△△点、●●チームは▲▲点でした。 ・2回目の1位は○○チームでした。 	各チームの点数発表と1位のチームの確認
各チームにコメントを求める		<ul style="list-style-type: none"> ・(1位のチームに) 勝因は何でしょうか。 ・(最下位のチームに) 敗因は何でしょうか。 	
総合結果発表		・○○チームが優勝ですね。(豪華景品をお渡しします。) 拍手。	1回目、2回目の合計点数が高かったチームが優勝
アイスブレイクに対するコメント		<ul style="list-style-type: none"> ・さて、今回のゲームのように、利用者の方に同じメンバーで関わることは多いですね。 ・前回は反省して、よい点、課題を出して次につなげることは大事なことです。 ・このゲームもそういった例の一つですね。 	ゲーム中の状況をみながら、実際のチームメンバーに重ねてゲームを振り返るコメントを伝える

3. ロールプレイ

実施内容	映しておくスライド	司会の発言例	備考
ロールプレイ イントロダクション	多職種連携スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・それではロールプレイに移りたいと思います。 ・多職種連携教育とは、「2つ以上の専門職が、連携やケアの質を向上するために、お互いからそれぞれお互いについて学ぶこと」です。 ・今日のこの研修でも、これから行うロールプレイなどを通して、こうしたことを目指していきたいと思います。 ・事例検討ではなく、あくまで多職種を理解することがこの研修の目的です。 	<p>ロールプレイは、事例への望ましい支援やあるべき姿の検討・追及ではなく、多職種・当事者を演じてみてその立場・役割・心情等のプロセス（過程）を理解することが目的であることを再度説明。あまり細かい点にこだわらないようにしましょう。</p>
	事例スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイの内容ですが、これからある患者さんの退院調整カンファレンスを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、標準シナリオに基づいたセリフとしています。アドリブ大歓迎です。 ・退院カンファレンスになじみがない職種が多い場合には、地域の関係者が在宅へ向けてカンファレンスをする設定など、柔軟に場面を設定。
		<ul style="list-style-type: none"> ・事例の全体像は、…（省略）。 	事例の全体像
	家系図スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・家族状況は、…（省略）。 	家族の状況
	日常生活動作スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のADLは、…（省略）。 	ADL、IADL、長谷川式
	処方内容スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・処方内容は、…（省略）。 	処方内容
配役の決定	配役スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・配役は、スライドに示すように○人設定してあります。 ・グループによっては○人に満たないところもありますので、その場合は足りない分の職種を欠席扱いにしてください。 ・欠席扱いの職種は何でもよいですが、主人公の□□さんだけは必ず入れてください 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ人数が事前に分かっている場合は、欠席扱いにする職種を事前に事務局が指定することも可。（現実の世界でもドタキャンや急に参加できなくなる事もありますとコメントしてください。特に医師）
		<ul style="list-style-type: none"> ・□□さんは頑固で、腰を痛がっている感じですね。 ・お嫁さんは在宅生活できるか心配している感じでもいいですよ。 	左記以外の配役もワンコメント入れてよい（緊張しながらも時々笑が出てくる）
		<ul style="list-style-type: none"> ・では、グループの中で配役を決めてください。 ・民主的に決めてくださいね。民主的ですからじゃんけんやあみだくじなどで決めてください。 ・男女も年齢も関係なしです。 ・ただし、自分の職種以外を選んでください。 	
（各チームで配役決定）			

シナリオの読み込み		<ul style="list-style-type: none"> ・配役が決まりましたら、自分の配役のキャラクター設定を読み込んでください。 ・自分の職種が良くわからなくても、今ある知識で演じてください。 ・自分の配役のキャラクター設定は、ほかの人には見せないようにしてください。 	キャラクター設定に3分ぐらいかける
(各自で配役に応じたシナリオを読み込む)			
配役内容の確認	関わる人配役スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・では配役を確認します。 ・□□さんの方、ちょっと頑固おやじをお願いします。 ・お嫁さん役の方、若干在宅を心配しているふうをお願いします。 ・病棟担当看護師の方、クールな感じでお願いします。 ・訪問看護師さん、熱血な感じでお願いします。 ・いずれにしても、シナリオを参考にして基本的にアドリブをお願いします。 ・日ごろその職種に対して感じていることを踏まえてキャラクターを作ってもらっても結構ですよ。 ・ぜひなりきってください。 	キャラクター設定に基づいてフンポイントコメントを入れる(この段階になるとかなりほぐれてきます。アドリブ大歓迎と再度伝えてください。)
ロールプレイ前の最終確認	調整会議スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・ではいいですか？医療ソーシャルワーカー(MSW) 役の方、司会をお願いします。 ・時間は20分間1本勝負です。皆さんに一言はしゃべってもらおうようにしてください。 ・繰り返しますが、キャラクターの設定以外はアドリブで、セリフもお任せします。 ・カンファレンスの結論はお任せします。やはり在宅で、条件付き在宅で、入院継続などどんな結論でも結構です。 ・もう一度確認しておきますが、今回のロールプレイによる研修は多職種の連携、多職種の理解を深めていくことが目的ですので、お忘れなきようお願いします。 	※再度、医療的な内容の細かい点にはこだわらないにしつつお互いのやりとりや連携のプロセスに焦点をあてるように心がけてください。もし医療的な質問が出た場合にはこのスライドに載っている情報だけですときっぱりお願いします。
ロールプレイ開始		<ul style="list-style-type: none"> ・それでは始めたいと思います。 ・□□さんとお嫁さん、立ってください。テーブルから1m離れて、お嫁さんが介助しながら部屋に入ってくるから始めます。 ・よーいドンで始めますよ。20分1本勝負。 ・では、よーいドン。 	タイマーをセットしてください。
(ロールプレイ開始：20分)			
終了時間のアナウンス		<ul style="list-style-type: none"> ・あと4、5分で結論をまとめてください。 ・あと2分ぐらいです。 	時間を測っておく
終了		<ul style="list-style-type: none"> ・時間です。では、□□さん、お嫁さんと退場していただいて、終了。拍手をお願いします。 	

グループでロールプレイ振り返り	いかかでしたか？スライド	<ul style="list-style-type: none"> ・熱演していただきありがとうございます。 ・では、模造紙の真ん中にカンファレンスの結論を書いて下さい。在宅、条件付き在宅、ホスピスなど、何でも結構です。 	できれば一番若い方がお願いします。
(模造紙に結果を記載)			
感想の記載		<ul style="list-style-type: none"> ・書けましたか？それでは、模造紙の空いているところにそれぞれが演じた感想をそれぞれ書いてください。マジックまたは皆さん自身の筆記用具で構いません。 ・字の向きはランダムでも構いませんよ。 ・できるだけ新鮮な感想を今のうちに書きちゃってくださいね。 	
(模造紙に感想を記載)			
感想の発表		<ul style="list-style-type: none"> ・感想を書き終わったら、演じた役柄とニックネームも書いて下さい。 ・グループの皆さんの筆が止まったら、一番若い人から自分の書いた感想を順番に声に出して読んでください。 	この時間を十分にとるように、グループメンバーが全員話し終わったとしても時間をとって議論してもらおう。この時間が最も重要な時間です。自分の職以外の役を演じて改めて他の職種へのリスペクト(尊敬の念)や大変さへの共感が生まれてくる事が多いのです。
(感想を読み、話し合う)			
全体の共有		<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしく盛り上がっていただきありがとうございます。 ・では、いくつかのグループにどんな結論になったか、あるいはどんな雰囲気だったか発表していただくと思います。 <p>【全体司会のコメント例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(司会をした人に) 司会をするって大変ですよ。 ・いつもと違う立場から見るといのはどうでしょうか？ ・(本人を演じた人に) お話はよく聞いていただけましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ数が少ない時は全グループに発表してもらおう。 ・グループ数が多い時は <ol style="list-style-type: none"> ①対立結果になった2つのグループ ②盛り上がったグループ ③事前に注目していた人物のいるグループ などを司会が選択。 ・原則一番若い人に発表してもらおうが、注目人物(喋りまくる人等)のグループは注目人物に発表してもらおう ・グループの感想に対して、それぞれにコーディネーターがコメントをつける
事例のその後の経過	その後の□ □さん物語	<ul style="list-style-type: none"> ・この事例の本人は、その後…(事例の経過を説明) 	参加者は「答え」を知りたがっていることが多いので、この経過説明を行っています。皆さんが出した結論と違うかもしれません。その違いについてはあまり触れず、

			進めてください。
エンディング		・事例のその後を知っていかがでしょうか？グループで感想を共有してください。	感想時間を少しとる
(感想の共有)			
エンディング		<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイは以上で終了です。大変お疲れ様でした。 ・せっかく一緒に活動した大事なグループです。お互い満面の笑みで握手やハグをして終わらしましょう。よく手の汗を拭いてくださいね。 	<p>グループワークも同じグループであれば、最後のグループワークまで終わってから握手とする。本日のグループは実際の患者さんのケアの時のチームになるかもしれません。患者さんごとに行けるチームの一つの解散式になりますね。お互いをねぎらい、一旦解散する意味での儀式です。</p>